

# TOPICS

## 地震・火山情報

地震研究所のホームページ「地震・火山情報」で、情報が随時更新されています。

<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/topics/>

- 2016年10月16日から25日にかけて、地震研究所の武尾実教授が率いる研究チームによる西之島上陸調査が2013年の噴火開始後、初めて行われ、その様子の動画が公開されています。
- 2016年10月21日鳥取県中部の地震
- 2016年4月14日熊本地震

## 報告

- 科学技術振興機構（JST）の日本・アジア青少年サイエンス交流事業が2016年7月に開催され、中国、インド、台湾や韓国の学生10名が来所しました。



巡検で東北を訪れた際に立ち寄った中尊寺での集合写真

- 日本地球惑星科学連合（JpGU）連合大会（千葉県幕張開催）やアジア・大洋州地球科学連合（AOGS）年会（中国・北京開催）にブースを出展しました。
- 一般公開・公開講義を2016年も8月に開催しました。
- 小原一成所長・加藤愛太郎准教授の論文が『Science』に掲載されました。
- 西田究准教授の論文が『Science』に掲載され、表紙にも選ばれました。また『Science』誌主催の記者レクチャーである「Media Availability」が、2016年8月24日に地震研究所のセミナー室にて開催されました。日本での実施は今回が初めてです。



## 最近の研究から

最近の研究を紹介するコンテンツ「最近の研究から」に、新たな論文が追加されています。ぜひご覧ください。

<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/researchlist/>

- 大規模シミュレーションモデルに基づくデータ同化のための不確実性評価が可能な新しい4次元変分法の開発
- 地震波勾配法による2次元地震波動場の再構築
- 温故知新
- 2014年チリ北部地震M8.2の発生前に見られた加速的な固着の剥がれ
- 三次元数値計算による実験試料の幾何形状が波動場に及ぼす影響の検討
- 2016年熊本地震の本震発生前に見られた前震域の拡大
- スロー地震の巨大地震との関連性
- 2014年長野県北部地震の余震活動によって明らかになった神城断層のFootwall Shortcut Thrust断層モデル
- 地震波エンベロープ及びその偏微分係数を計算するための摂動モンテカルロ法
- 高周波数地震動により制約された2015年5月30日に小笠原諸島西方沖で発生した深発地震（Mw 7.9）の発生位置
- アウターライズ地震の際の海洋レイリー波が長周期地震動の継続時間に及ぼす影響
- 地震波放射エネルギー総量の観点から見た西南日本における深部低周波微動の活動特性
- 溶岩流による成長する新火山島の形態的進化

## 受賞

- 加藤照之教授らが「日本測地学会賞坪井賞（団体賞）」を受賞
- 中谷正生准教授「岩の力学連合会フロンティア賞」を受賞
- 中田節也教授「日本火山学会賞」を受賞
- 安田敦准教授・吉本充宏外来研究員らが「日本火山学会論文賞」を受賞
- 加藤愛太郎准教授が「日本火山学会論文賞」を受賞

## INFORMATION

### 人事異動

- |         |       |        |                   |
|---------|-------|--------|-------------------|
| ● 10月1日 | 転入    | 里村俊彦   | 財務チーム・契約 係長       |
|         | 転出    | 下村勇人   | 財務チーム・契約 係長       |
| ● 9月30日 | 退職    | 中川茂樹   | 地震火山情報センター 講師     |
| ● 8月16日 | 昇任    | 中川茂樹   | 地震火山情報センター 講師     |
| ● 7月1日  | 転入    | 千葉大輔   | 財務チーム・契約 係長       |
|         | 転出    | 新井宏之   | 研究支援チーム・研究協力 主任   |
|         |       | 内間邦夫   | 財務チーム・契約 係長       |
|         |       | 森 有子   | 研究支援チーム・研究協力 主任   |
| ● 6月1日  | 臨時的採用 | 長谷川とし子 | 研究支援チーム・研究協力 一般職員 |
| ● 5月1日  | 採用    | 西山昭仁   | 地震予知研究センター 助教     |
| ● 4月11日 | 臨時的採用 | 米津朋尚   | 技術部技術開発室 技術職員     |



西之島の西海岸から見た火砕丘と溶岩流（環境省提供）

本所永遠の使命とする所は  
地震に関する諸現象の科学的研究と  
直接又は間接に地震に起因する災害の予防並に  
軽減方策の探究とである（寺田寅彦）

東京大学地震研究所  
ニュースレターPlus  
第25号

発行日 2017年1月27日

発行者  
東京大学 地震研究所

編集者  
地震研究所 広報アウトリーチ室

制作協力  
フォトンクリエイト  
(デザイン: 酒井デザイン室)

問い合わせ先  
〒113-0032  
東京都文京区弥生1-1-1  
東京大学 地震研究所  
広報アウトリーチ室

Eメール  
orhp@eri.u-tokyo.ac.jp  
ホームページ  
<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/>

# PIUS

地震研究所  
ニュースレター

NEWS LETTER Plus No.25  
Earthquake Research Institute,  
The University of Tokyo



特集

## 地殻変動観測の 限界を超える

**神** 岡鉱山の地下に、基線長1500mの大型レーザーひずみ計が完成し、2016年8月に試験観測を開始した。これまでにない高い精度で地殻変動を捉えることが可能なため、地震や常時地球自由振動などさまざまな地球科学的な現象の理解が進むと期待されている。並んでいる大型低温重力波望遠鏡「KAGRA」との連携も重要な任務である。



東京大学地震研究所